

事務事業名 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：604

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-04-547
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの の人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～			新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市子ども会育成会連絡協議会				地域の子ども会活動への協力と理解に厳しさが増すなか、「子どもの手による子ども会活動」を目指して子ども会を支援指導する「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。 【活動内容】 ・役員会、運営委員会、専門部会の定期的な会議の開催 ・イベントの実施（指導者研修会、みんなと遊ば、子ども会サミット、カルタ大会など） ・各子ども会育成会への説明（現新役員懇談会、事務担当者説明会） ・ジュニアリーダー（子ども会を卒業した中学生以上）の育成 【補助金交付の流れ】 申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
子ども会加入率			%	32.9	30.5	40	40			60
子ども会加入率が50%を超えている行政区の割合			%	88.8	92	90	90			90
5．コスト										
事業費			計	千円	495	495	495	495		
			国	千円	0	0	0	0		
			県	千円	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0		
			一般	千円	495	495	495	495		
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費			千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	1,268	1,277	1,297	495			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ○どちらかといえばあがっている ●あがっていない（停滞・低下）			令和5年度は、市子連に加入している子ども会数が27単位子ども会から25単位子ども会に減少したため、市子連への子ども会加入率が低下した。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	市子連への加入率の低下により、市子連が主催する行事への参加が減っており、市子連と地域こども会とのつながりが希薄になり、双方と状況を把握することが難しくなっている。事業の運営方法を見直し、未加入先への働きかけを検討する必要がある。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
市子連活動は、地域の子ども会活性化に必要であるため、引き続き市子連の活動支援を続けるとともに、市子連の在り方や子ども会育成会への支援等について、市子連と協議し今後の方向性を決めていく。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。				地域の子ども会育成会役員の負担を減らすため、市子連への加入が敬遠され、加入率の低下につながっている。						